

札幌ジャズオーディオ鑑賞会報告(第2部 ゲスト関井久夫による鑑賞及びレクチャー)

日時:2010年4月24日(土) 17:00~19:00 場所:札幌市豊平区 MITUYA' CAFE
報告者:畔田俊彦(札幌ジャズオーディオ鑑賞会・代表)

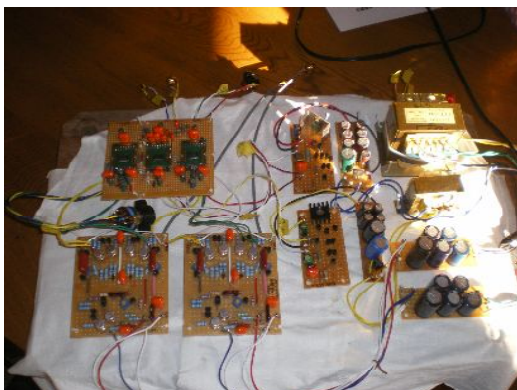
今回の鑑賞会は、MITUYA' CAFE さんの JBL4348 をスタジオモニターとして使用して行われました。これを関井氏が LF と MF~UHF の 2 系統のネットワークにそれぞれパワーアンプ(CROWN D-45,D-75A)の出力をつなげ、マルチシステムとして接続し、これに 2track38 テープデッキ(STUDER-A810)につなげました。更に CD プレーヤー(TASCAM RW-402)を切り替えて再生するという構成です。



セッティングされた STUDER-A810 と CROWN アンプと JBL4348

特に注目はアンプとスピーカー間のケーブルで、高域と低域でそれぞれ 1m と 6m のケーブルを並列に接続し、更に材質もスズメッキの有無で使い分けて接続されていたことです。(関井氏が音響チェックしながらセッティングしたもの)

まず初めに長万部の高井氏と札幌のジャズ工房の福澤氏の共作による「金田式の D/A コンバータ(プリアンプ)」が既にセッティングされていた関井氏のシステム(システム図参照)に組み込まれました。



高井氏・福澤氏共作の金田式の D/A コンバータ(プリアンプ)



金田式の D/A コンバータ(プリアンプ)をセッティングする高井氏

なんとこれがケースに入っていない基板状態での登場でした。これを TASCAM の W-CD デッキとクラウンのパワーアンプの間に接続しました。この「金田式の D/A コンバータ(プリアンプ)」の出力は発熱の関係もあり、出力は 12~3mA 程度に抑えているとの話でした。(福澤氏談)

更に「金田氏の DC アンプが普及したら、これからは OTL(出カトランスレス)になり発熱も少なくなり、出力も気にしなくなるかもしれませんね。」と関井氏。



アルバム Someday.Live in Japan

早速、金田式 A/D コンバータを使用してライブハウスでワンポイントマイクで DC 録音されたアルバム「Someday.Live in Japan/マグナス・ヨルト・トリオ」の中から「A 列車で行こう」が再生されました。

するとライブの明瞭感と音の躍動感が伝わってくるたいへん素晴らしい再生音で、とてもワンポイントで録音した音とは思えないほどの臨場感もあり、ただただ感動でした。

続いて過去に関井氏がデジタルで録音したアルバムの紹介もありました。

(このアルバム「Someday.Live in Japan」は、music store 「福のたね」 <http://fuku-oto.net/> にて入手可能です。)



曲やオープンリールの解説をする関井氏

それからアンプへの接続を CD デッキからオープンリールの 2トラ38に切り替えて、スリーブラインドマウスからリリースの 処女航海(TBM) / 高橋達也と東京ユニオン(1976年12月録音)のサブマスターテープの鑑賞を行いました。

最初の曲は、アルバム表題曲の処女航海。ちょっと音量を上げて再生しました。

実に鮮明で30年以上前に録音された音源とは思えない音でした。ホーンセクションの力強さが間近に迫るような感覚を受けました。

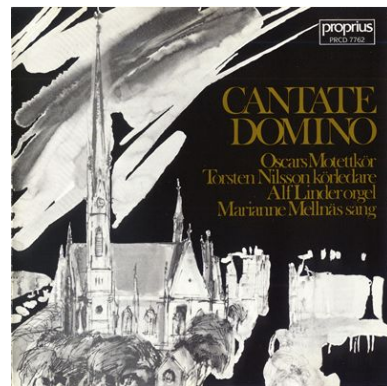
関井氏の話ではオープンリールのテープは早送りなどでなく通常の再生スピードにて巻き取って保存すれば、テープが強く引っ張られ重なることで起こる磁化による悪影響が抑えられ長期間保存がきくとプロのノウハウを教えてくださいました。

その後、同じアルバムで「ブルース」そして「サーデューク」を再生し、ちょうど時間となりました。

そこで最後に CD に接続を切り替え、オーディオチェックによく利用されているアルバム“CANTATE DOMINO” (1976年録音スウェーデン)を紹介して頂き、その中から JULSANG を再生しました。教会で録音されたコーラスが見事に再現され、その残響音から教会の奥行きや広さが伝わってきました。



会場の様子(MITUYA' CAFE)



アルバム“CANTATE DOMINO”

そしてもっと聴きたいというお客さんのために、関井氏が最近録音された演歌の音源(娘に送る詩 / 二美 仁)を再生し、制作現場の裏話も聞けました。(娘に送る詩 / 福澤恵介作詞・作曲)

更に、テープをもう1曲聴きたいというリクエストを受けて、再度テープに接続を切り替え、処女航海の中から「ジャイアント・ステップ」を再生し、今回の鑑賞会を終了しました。

オープンリールから CD に切り替える際に、関井氏がアンプへのケーブルをアンプが ON 状態で切り替えたのですが、まったくノイズが出ないことに驚きました。「これがプロのオーディオなんです。」と関井氏。

今回は、札幌以外では岩見沢・長万部、更に関東(神奈川県)からも参加者がありました。合計で19名のオーディオファンの皆様に来場して頂きました。ご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。